



ショールームに何度も足を運び、打ち合わせを重ね、時間をかけてじっくりと自分たちのこだわりを叶えていったM様のお住まいは、訪れた誰もが思わず「おしゃれ！」と声を上げる素敵なマイホームに。

どんなところにこだわられたのか詳しくお話を伺いました。

フィオレハウス三国サンストリートを知ったきっかけは？

奥様：インターネットで調べていて、三国サンストリートのことを知りました。「きちんと整備された大型の分譲地」というのが写真を見たときの印象で、ここなら家の前でも安全に子どもを遊ばせられるかなと思い興味を持ちました。

主人と話し、まずは見に行ってみようということになりました。

ここにしようという決め手になったのは？

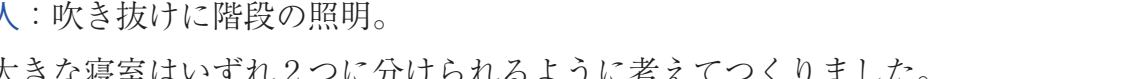
奥様：花火ですね（笑）。

「お家から淀川の花火大会が見えますよ」そう言って高岡さんが写真まで見せてくれました。

ここに家を建てたら、特等席で花火が見える。

かなり大きな決め手になったのではないのでしょうか！

お二人のこだわりが随所に感じられるお住まいです。どんなところにこだわりましたか？

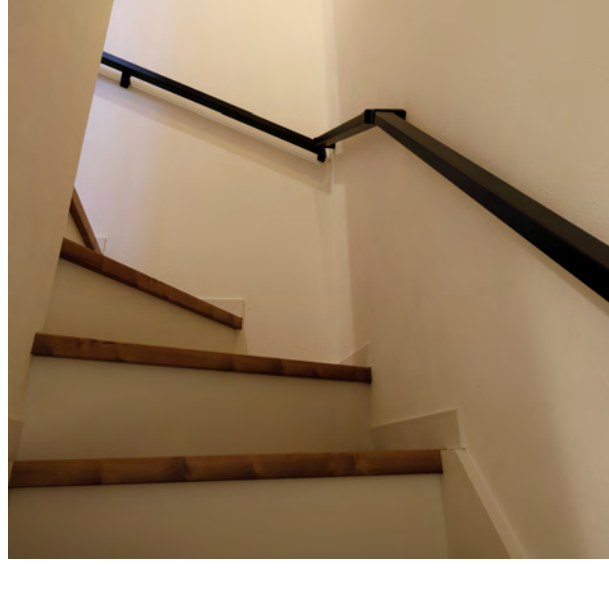


ご主人：吹き抜けに階段の照明。

あと大きな寝室はいずれ2つに分けられるように考えてつくりました。

奥様：私の思い入れが強かったのは、やっぱり造作洗面台。今でも家族や友人が来ると、「かっこいいでしょう！」と一番に自慢しています。カウンターもボールもタイルも鏡も、すべて自分で選びました。「これはこのメーカーがいいです」「この部分はこういう風にしてください」「タイルは一度取り寄せてください」いった具合に、一つひとつのパーツをいろんなメーカーから取り寄せていただいて、仕上がりがかなりこだわりました。

本当にたくさんわがままを聞いていただいたなと思います（笑）



ほかにたくさんのこだわりが感じられます。ぜひ、ご紹介ください！



奥様：そうですね。広くすっきりとしたキッチンとリビングのヘリンボーン柄の壁もこだわりの一つ。ヘリンボーンの壁は、クロスではなく、本物の木を使っています。

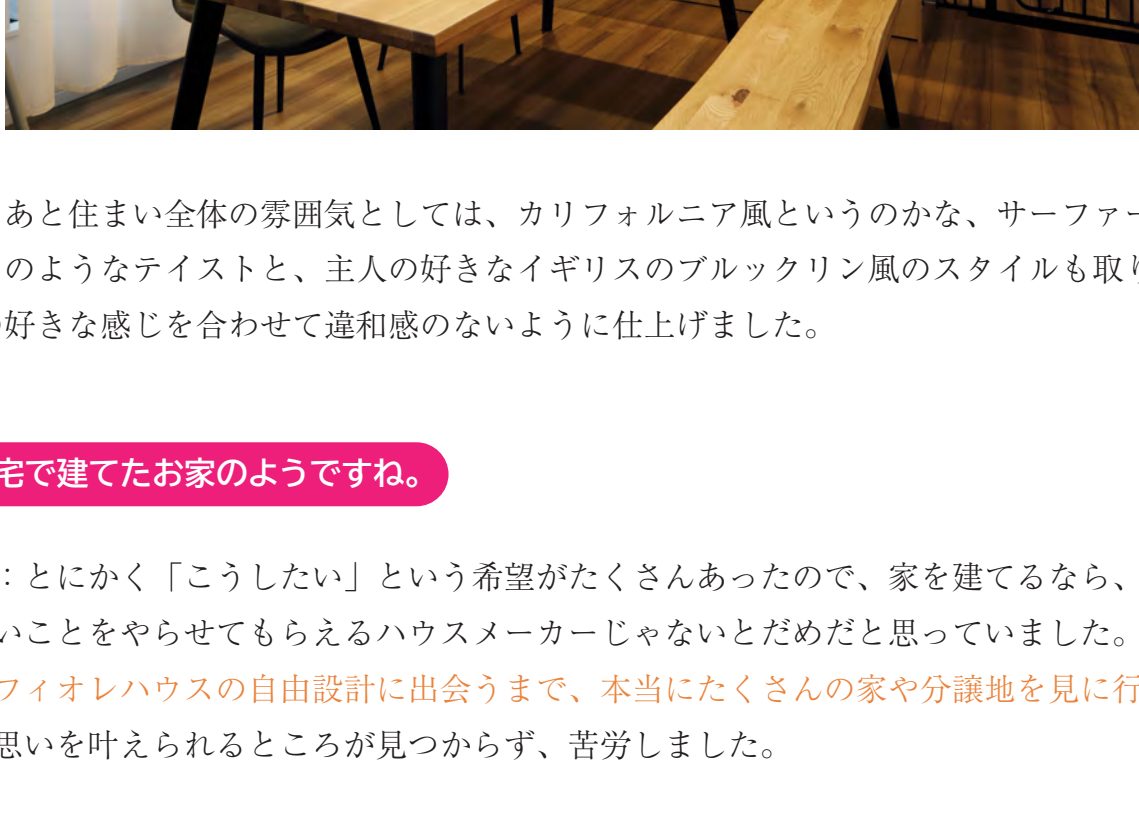
キッチンは、食品を保管するパントリーや収納を設けて、とにかく何もモノがない空間を

目指しました。電子レンジもジャーも見えないところには一切置きません！

もうひとつ、庭が欲しいという思いもあったのですが、それはさすがに難しく、代わりに

屋上をつくることにしました。こんなご時世がからこそ、子どもが自然の空気を吸って、

のびのび走り回れる環境をつくりたかったんですね。



奥様：あと住まい全体の雰囲気としては、カリフォルニア風というのかな、サーファーズハウスのようなテイストと、主人の好きなイギリスのブルックリン風のスタイルも取り入れ、二人の好きな感じを合わせて違和感のないように仕上げました。

注文住宅で建てたお家そうですね。

ご主人：とにかく「こうしたい」という希望がたくさんあったので、家を建てるなら、やりたいことをやらせてもらえるハウスメーカーじゃないとだめだと思っていました。

だからフィオレハウスの自由設計に出会うまで、本当にたくさんの家や分譲地を見に行きました。

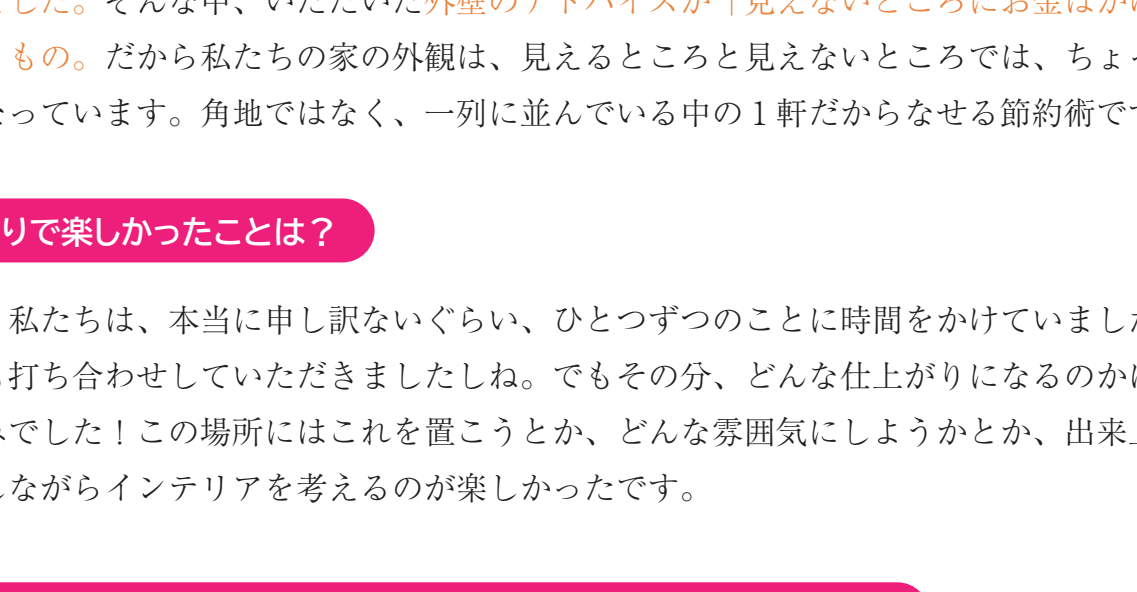
でも、思いを叶えられるところが見つからず、苦勞しました。

奥様：ただここでは、私たちのやりたいことはすべてやらせてもらいました！

高岡さんと建築士の片山さんは、とにかく私たちの話にじっくり耳を傾けてくれましたね。

ご主人：結構無理なお願ひもしたと思いますが、ちゃんと自分たちの希望にぴったりくる提案をしていただいていた。どうしたらできるかを考えている時間はさっと長かったはず…（笑）。

ご提案でよかったと思うことは？家づくりで大変だったことは？



ご主人：外壁ですね。

奥様：家づくりにおいては、とにかく言い出したらきりがないぐらいやりたいことがたくさんありました。でも予算との兼ね合いもあるので、節約できるところはきっちり節約する必要がありました。

そんな中、いただいた外壁のアドバイスが「見えないところにお金はかけない」というもの。

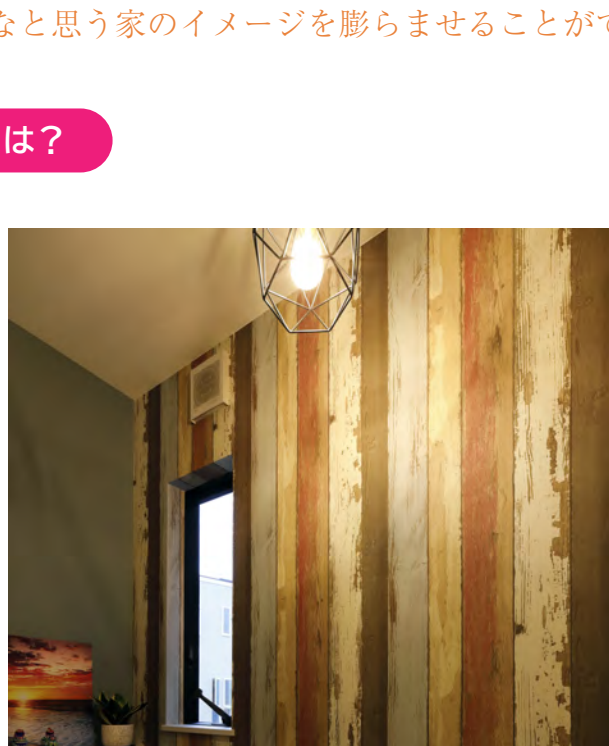
だから私たちの家の外観は、見えるところと見えないところでは、ちょっと仕様

が異なっています。角地ではなく、一列に並んでいる中の1軒だからなせる節約術ですね。

家づくりで楽しかったことは？

奥様：私たちは、本当に申し訳ないぐらい、ひとつずつのことに時間をかけていました。何回も打ち合わせしていただきましたしね。でもその分、どんな仕上がりになるのかは本当に楽しみでした！この場所にはこれを置こうとか、どんな雰囲気にしようとか、出来上がりを意識しながらインテリアを考えるのが楽しかったです。

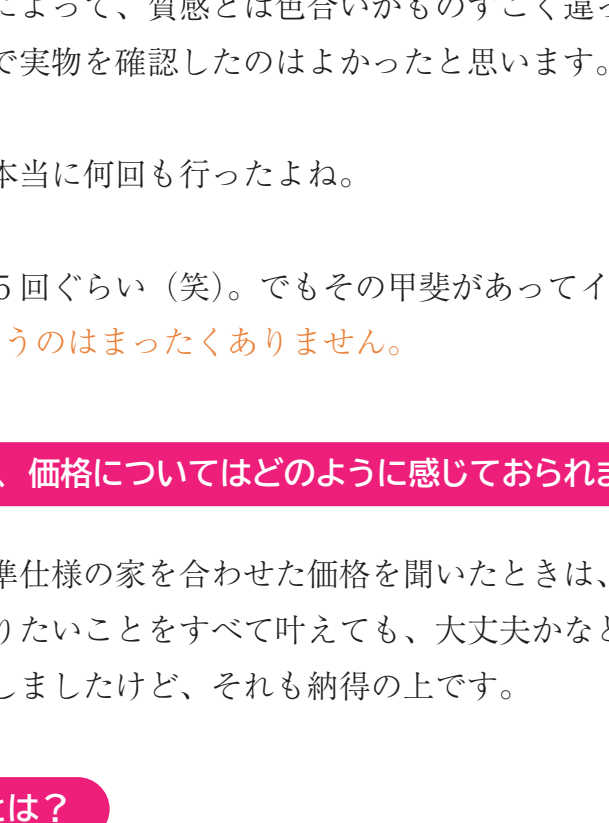
いろんなアイデアが詰まったお住まいですが、アイデアはどこから？



奥様：ネットで色々見て研究したというのありますし、私たちより先にお家を建てたお友達の見えやアドバイスを参考にしたこともありました。

ご主人：ここに来る前にいろんな家を見たので、それでだいぶん自分たちのやりたいことをクリアにして、住みたいと思う家のイメージを膨らませることができたと思います。

家づくりで一番悩んだことは？



奥様：いろいろありすぎて…。とにかくすべてに悩みすぎるぐらい悩みました。

ご主人：でもやっぱりクロス…？

奥様：確かに。内装の壁材に関しては、数々のショールームに何度も足を運びました。

何がいいのか分からなくなるぐらい壁材は見ましたね。

ただ同じ木でもメーカーによって、質感とは色合いがものすごく変わってくるので、どんなに

大変でも実際に足を運んで実物を確認したのはよかったと思います。

ご主人：ショールームは本当に何回も行ったよね。

奥様：リクシルだけでも5回ぐらい（笑）。でもその甲斐があってイメージ通りの家に！「思ったのと違う！」というのはまったくありません。

「満足！」とのことですが、価格についてはどのように感じておられますか？

奥様：最初に、土地と標準仕様の家を合わせた価格を聞いたときは、思ったよりも安いという印象でした。これならやりたいことをすべて叶えても、大丈夫かなと思いましたね。

最終的に予算はオーバーしましたが、それも納得の上です。

実際に住んでみて思うことは？

奥様：屋上はつくってよかったなと思います。家族や親戚、友達が来たときには、みんなで外の風を感じながら、ゆったりくつろいで過ごしています。気候がいいときは、お風呂上りに、ビールや酎ハイをもってよく屋上に行きますし、この前はお月見を楽しみました。

セカンドリビングとも言うのでしょうか！屋上はものすごく活用していますね。

家族や親戚、お友達の反応はいかがですか？

奥様：うちの母がとにかく喜んで…。「ここにこれを飾ったら？」と、遊びに来るたびにいろんなものを持ってきますよね（笑）。

母も親戚のおばちゃんもキッチンを手を洗ってくれます。「こんなにきれいで広かったら料理するのが楽しくなる！」とずっとキッチンに立っていてくれるほど。

この前なんか、女性が5人ぐらいキッチンに並んでいたのですが、まったく窮屈に感じる

ことがなかったですね。キッチンを広くしたのは大正解でした！

いずれは、ベビーゲートもいらなくなるので、キッチンはさらに広く使えるようになるかなと思っています。その時々状況に応じて空間を変化させながら、この住まいでの暮らしを楽しんでいきたいですね。

洗濯がこんなに楽になるなんて！

日当たりや家事動線にこだわって毎日の生活を楽しく快適に

Fiorehouse series

三国サンストリート（大阪市淀川区） M様邸

フィオレハウスの自由設計でマイホームを建てている間は、夫婦で毎日家のことをたくさん話したというM様ご夫妻。「夫婦の絆が深まったかも！」そう言って笑顔を見せる素敵なお2人に、マイホームを建てているときのことや現在の住み心地を聞いてみました。



フィオレハウスを選んだ理由は？

ご主人様：以前賃貸で住んでいた家がとても古かったということもあり、新しく一戸建てかマンションを購入しようという話になりました。それがすべての始まりです。

家を買うと決めてからは、それぞれがリサーチをして、気になるマンションや一戸建てを候補として挙げていきました。その中にフィオレハウスがあったのです。

いくつか候補があったとのことですが、なぜフィオレハウスに？

ご主人様：新しく家を購入するなら、場所は、2人の職場の中間地点にと決めていました。三国は、そうした条件に合っていたので、ここでいいかなと思ったんです。ちょっと奥さんの職場寄りにはなりましてけどね（笑）。

もちろん場所以外にも、どんな家に住みたいかとかコストのことなんかも考えたと思うのですが、ここにしようという決め手になったのはやっぱり高岡さんかな。

高岡さんがとてもいい人だったということしか今は思い浮かばないですね！



決め手は担当者だったわけですね。

ご主人様：正直に言うと、最初は「なんかうさん臭そうな人だな」と思っていました。ごめんなさい（笑）。というのも、高岡さんって営業なのに、あんまり営業されないんです。僕たちは、いろんな分譲地やマンションを実際に見て、たくさんの担当者にお会いしましたが、基本的に皆さんやっぱり家を買ってほしいという思いがあるので、ぐいぐいいろんな話をしてくられるわけです。

でも高岡さんは、そういうのがなくて…売れるという自信があったからでしょうか。

ただそのおかげで、営業担当者の言葉にとらわれることなく、「本当にこの家でいいのか？」という本質的な部分をしっかり考えることができました。

だからこそベストな選択ができたのでしょうね。

奥様：あと間取りが自由に決められるのも魅力的でした。フィオレハウスを知ってからは、ほかの物件を見てもあまり心が動かなかったですね。

自由設計でどんなお住まいにしたいと思っていましたか？



奥様：前の家がすごく暗かったので、日当たりの良い明るい住まいにしたいというのが一つ。あと私は家事の中でも洗濯が特に嫌いなので、「無駄のない動線」というのもまた重要なポイントに。洗濯を含め、家事は1階で完結させることにこだわりました。

家事がしやすいようなこだわりがあるわけですね！

奥様：私たちのこだわりは、ずばりファミリークローゼット！玄関には、シューズインクローゼットとあわせて、服をかけておくクローゼットを設置したので、基本的に洋服は、2階の個室ではなく、玄関先のファミリークローゼットへ。

そうすれば、洗濯して乾燥させた洋服を、わざわざ2階に置きに行く必要はないし、着替えるときも2階まで取りに行く必要がなくなります！

あとリビングをすっきりさせたかったというのもあって、玄関先にいろんなものを収納できるスペースを設けました。



洗濯に関しては、設備にもこだわったと聞きました。

ご主人様：よくコインランドリーで見かける、衣類のガス式乾燥機「かんたくん」を設置しました。これは、一般的な衣類乾燥機のようにコンセントをさせば動くというものではないので、家を建てる段階で取り付けることをあらかじめ計画し、ガス管や配線を整備していただきました。

奥様：洗ったものをそのまま乾燥させてクローゼットへ片づけるだけなので、洗濯が格段に楽になりましたね！

明るい家にしたいとのことでしたが、その点はどう工夫されましたか？

ご主人様：実は実際に家が建ってからすごく驚いたことがありました。それは玄関を開けて左手にある階段部分のところ。図面を見たときは、てっきり上から下まで壁だと思っていたのですが、上半分はちゃんと空いていて階段が見えるようになっていたんです。

2階からの灯りや階段横の窓から入る光が、ちゃんと玄関に届くようになっていて、さすがプロだなと思いました。

こうしたことは自分たちでは絶対に考えつかないこと。だからものすごく助かりますし、安心してすべてをお任せしていました。僕たちの要望は、あれこれ細かく言わなくても、きちんと随所で叶えられているという印象があります。

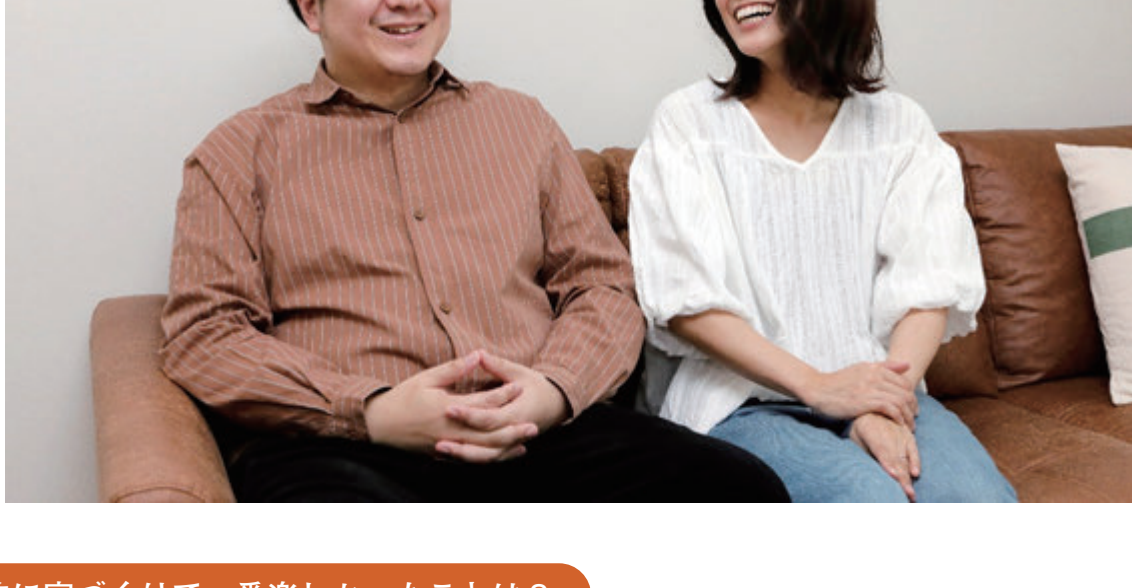


家づくりで大変に感じたことはありましたか？

ご主人様：家づくりでしんどさを感じたことはなかったですね。とにかく楽しかった。

奥様：家づくりの間はとにかく2人でよくしゃべっていましたよね。夫婦で毎日家のことを何かしら話していました。

ご主人様：前に住んでいた家は室内が暗かったから明るくしたい。動線をよくしたい。そんな風に「ここを変えたい」「こんな不満を解消したい」というポイントが夫婦で一致していました。だから意見がぶつかることもなかったです。



具体的に家づくりで一番楽しかったことは？

ご主人様：壁紙を選ぶとき！ものすごく分厚い見本帳があって、さすがに初見で脱落しましたが、どんな壁紙がいいか建築士の片山さんにイメージを伝えたら、だいたいいつも3つぐらい候補を挙げてくれて…どんなものが出てくるのか楽しみにしていました。

奥様：私は見本を見るのが好きなので、一応目を通していましたが、結局片山さんがピックアップしてくれたものの中から選んでいましたね。イメージを伝えたら、それにぴったり合うものを選んでくれるから驚きです。

実際に完成したお住まいに住んでみていかがですか？



ご主人様：ちょうどこの家に住み始めて1週間ぐらいたちましたけど、とにかく住み心地がいい！毎日感動しています。

価格についても、大きく予算をオーバーすることがなく大満足です。

高岡さんは、最初伝えていたコストと、やりたいことのバランスを常に考えてくれていたので、とにかくお任せしていました。

ちなみに家づくりには、僕の父にも参加してもらっていたんですよ。父が大工の経験があると高岡さんにお話ししたら、できる範囲で手伝ってもらおうということに。

そのおかげで職人さんと呼ぶ必要がなくなり、コストをさらにカットすることができました。

どんなときに住みやすさを実感されますか？

ご主人様：そうですね…たくさんありすぎてわかりません！お風呂もきれいだし、洗濯は「かんたくん」がついて快適。洗濯物を干したり取り入れたりする手間がないだけで、こんなに楽になるんですね。

あと玄関の鍵が、シールキーになっていてとても便利。

シールをよく使うものに貼っておけばそれがカギになるので、僕は携帯に貼って使っています。だから鍵を閉めようとするとき、携帯を忘れていないとちゃんと気付くことができるわけです。

すごく便利ですよ！

お知り合いにフィオレハウスを紹介してもいいかなと思いますか？

ご主人様：もちろんです。

特に今回家づくりをして、担当者というのがどれほど重要になるのかのことがものすごく分かりました。だからこそ、マイホームを建てたいという人がいたら、高岡さんのことを教えたいと思いますね。

すごくいい人だし、頼りになるよって、自信をもって紹介できますから。

奥様：建売の一戸建てを買うのと同じような価格帯でもっと自分のこだわりをカタチにした家に住める！そんなことも伝えられるといいですね。



フィオレハウスでマイホームを建てていただいたM様にインタビュー。
本分譲地にお決めいただいた理由やお気に入りポイント、それぞれのこだわりや実際の住み心地、スタッフとのエピソードなどをお伺いしました。



Q. マイホームを考えるようになったきっかけは？



ご主人：賃貸マンションに住み続けていても、この先家賃を払うばかりで何も残らない。そこでいずれは資産として残せるマイホームの購入を考えるように。家を買うと決めてからは、2人で自転車に乗って近隣をまわっていました（笑）。そこで三国サンストリートの分譲地に巡り合ったんです！

最初は電柱の看板をみて、分譲地のことを知りました。現地に行ったら、さらに高岡さんとの出会いが待っていたというわけです。

奥 様：とにかくマイホームを持とうと決めたものの、最初は、どんな家にしようとか、注文住宅で建てようとか明確なプランやビジョンは何もありませんでした。そもそも注文住宅や自由設計がどういうものかわかっていなかったというのが正直なところ。だから最初は建売の家ばかり見ていました。

Q. 最初から自由設計にしようと思っていたわけではないんですね。



奥 様：それが自由設計のことを知ってから、ものすごく火が付きまして（笑）あれもしたい、これもしたいがあふれるように湧き出てきた感じ！
住まいに自分の理想が取り入れられると分かって、スイッチが入ったんでしょうね。そこからモデルハウスをよく見に行くようになりましたね。
ただモデルハウスへ行く前に、高岡さんがいろいろと聞いてくれたんです。
どんな住まいをイメージしているのか、どんな家を建てたいのか…
質問される中で、リビングは広くしたいとかインナーバルコニーが欲しいとか、収納は多い方がいいよねとか、要望がどんどん出てきました。自分たちが漠然と思い描いていた理想をクリアにしてくれましたね。

ご主人：あと高岡さんからもいろんなご提案をいただきました。
自分だったらこうするなというお話をよくしてくれて、すごく参考になりましたね。
歩いていくと電気が自動的につく玄関先のライトは、高岡さんに提案してもらった一つですが、私たちがすごく気に入っています。

Q. 最終的にフィオレハウスに決めた理由は？

ご主人：高岡さんには、資金調達の段階からお世話になっていました。マイホームの購入にあたっては、所有していたマンションを売却して購入資金にあてるつもりでしたので、その手続きもお任せしました。資金計画のこともあわせてお願いできたのはありがたかったですね。
それに高岡さんはとにかく仕事が早かった！ ボールを投げたらすぐに帰ってくる感じ（笑）
マイホームを考えるようになってから、いろんな不動産屋さんを回りましたが、対応の速さは群を抜いていましたよね。それがこちらを購入する決め手になったと言っても過言ではありません！
もちろんフィーリングが合ったというのもありますけど。

Q. 家づくりでは大変なこともありましたよね。

奥 様：ないです（笑）。とにかく家づくりは楽しかった！
特に壁紙とか、設備や機器なんかは選択肢が多くてすごく迷いましたが、ワクワクの連続でした。
家がどんどん出来上がっていく過程を見る楽しみが大きかったからか、大変だったとかしんどかったと感じたことは、やっぱりないですね。

Q. 住み心地はいかがですか？



奥 様：とにかく完成した我が家はすごくいい！の一言に尽きます。
自分が気に入ったものが使われて、**こうしたいという要望がしっかりカタチになっている**からでしょうね。正直、図面を見て考えていたときと、実際住んでみたときでは、ちょっと違うというのは多少あります。でも、家事動線や使い勝手を考えてこだわったところは、住んでからも良かったと思いますね。そこは妥協しなくて正解でした。
その一つが仕切りのないベランダ。私が気に入っている場所の一つです。
洗濯が大好きなので、一気に洗ってズラッと干したいというのが私の希望でした！
それがワイドバルコニーだと叶うんです。しかもインナーバルコニーにしたので、仕事に行っている間の雨降りを心配する必要がありません。もちろんワイドだったり屋根をつけたりすると、費用はかかりますがそこはあきらめず頑張って良かったと思っています。

ご主人：それぞれにプライベート空間がもてたのも、住んでみて良かったなと思えることの一つ。
最近はテレワークの機会も増えているので、ゆくゆくは書斎として活用しようと思っています。
それぞれの部屋をこれからどう使うか…まだまだ夢は広がります！

Q. 新しい住まいの中で、特に気に入っている場所はありますか？



奥 様：私のお気に入りの場所は、インナーバルコニーをはじめ、リビングにキッチン…ほぼすべてですね（笑）。
玄関入ってすぐにある土間収納も、使い勝手が良くてかなり気に入っています。
当初の希望通り、各個室にも収納スペースを設けているので、モノが増えても収納には困らないはず。

ご主人：私は、リビングの壁付けテレビ。友人が来たときに褒めてもらえるポイントです。
基本的に家づくりの主導権は奥さんが握っていましたが、このテレビだけは私の意向が尊重されました！

Q. フィオレハウスの魅力を教えてください。



ご主人：やっぱり**自由設計**というのが一番の魅力ではないでしょうか。
私たち夫婦も自由設計の良さを肌で感じましたしね。「こんな家に住みたい」が実際に叶えられるのは、きっと自分たちが思っている以上の喜びがありますよ。

奥 様：それに自由設計だからといって、ものすごく手が届かないような価格になるかと言えば実はそうでもない。私たちもマイホームをこの近辺で探していたとき、それなりの価格なのに、家の前の道幅が狭かったり、小さい家しか建てられそうになかったりと、価格と条件が釣り合わないという印象を受けたことが結構ありました。でも三国サンストリートのような大型分譲地なら、きちんと整備されているから、広い道路に面して間口が広く、奥行きのある家をドンと建てられる。そして価格はというと、自分たちがこれまで払ってきた家賃にちょっと足せばいいぐらいの負担で購入できるので、すごく満足しています。



マイホームの理想をカタチにする秘訣 それは「夢をたくさん語ること！」

三国サンストリート（大阪市淀川区） O様邸

フィオレハウスでマイホームを建てていただいたO様にインタビュー。
可愛いお子様がいらっしゃる、温かなご家族です。



Q. 三国サンストリートに決めた理由はなんですか？

奥 様：自分の家を持ちたいと思っていたある日、当時住んでいたところからそんなに離れていない場所で、広い土地が整備されているのを見て、「すごいのが建つんだろうな！」と興味をもったのがきっかけ。それがすべての始まりです。最終的に三国サンストリートに決めたのは、住み慣れたエリアから近かったこと。特に環境の変化は子どもの生活に大きく影響します。だから小学校こそ転校にはなるけれど、中学はもとの学区にある学校に通えるこの場所に決めました。

ご主人：営業担当の松本さんは「できない」を言わない人だったのが良かった。
マイホームを考えたとき、ほかの不動産会社もまわりましたが、自由設計といっても、ある程度決まった完成形があって、「できないこと」を言われるのがほとんど。だから自由設計とはそういうものだと思うようになっていました。

でも、松本さんは違ったんですね。「それはできません！」といった否定をすることがない。私が記憶する限り、できないと言われたことはないような気がします。だから最初の仮図面は、完成した我が家とはまったくの別物に。いかに自分たちの意向を汲み取ってもらえたかが分かりますよね（笑）

Q. マイホームづくりで叶えたかった夢を教えてください。

ご主人：とにかく車が大好きなのでインナーガレージは絶対に欲しかった。
そして周囲に車を洗ったりするスペースもつくってもらいました。基本的に家は奥さんのものと思っていますが、そこだけは自分の希望を叶えてもらうことに。

あとは桜の木。マイホームをもつことになったら、一家のシンボルツリーとなる桜を植える。それもまた一つの夢でした。そのことを話すと、木が植えられるように、家の位置を後ろにずらして、

玄関先のコンクリートに土の部分を残すようにしてくれました。



奥 様：私の希望は広いリビング。家族みんなが集まるリビングを広く、そして動線を考えてお風呂やトイレも2階にまとめることに。洗濯をして干すのも2階なので、あちこち動き回る必要がなく効率的に家事ができます。

もともと家族が集まるリビングは「すっきりシンプル」が自分たちのこだわり。

だからモノはできるだけリビング以外の場所に収納し、白のインテリアがより活きるよう心がけています。

Q. インテリアにもこだわりがあったんですね。



ご主人：ホワイトインテリアとでもいうのでしょうか。

基本的にインテリアは白を基調にして、住まい全体に統一感を出すようにしました。

壁も床も白なので、わが家へ遊びに来る知人や友人は、「真っ白！」と驚きますね（笑）。

でも「真っ白な家」にしたのは正解かなと思っています。広さを感じるし、開放感もある。

確かに掃除は少し大変で、四角い家を丸く掃く性格の人には難しいかもしれませんが。ただ妻は、比較的きっちり掃除をするタイプということが、長年一緒に暮らしてきて分かっていたので、

「白でも大丈夫」と思えました。子どもも大きくなっていますしね。ただ、子ども部屋に関しては、せっかく自分の部屋がもてるということで、子どもたちそれぞれに壁紙を選んでもらいました。

家の中には、個性を出している場所もあるんですよ。

Q. 担当スタッフと二人三脚での家づくりはいかがでしたか？



ご主人：こちらの要望は否定しない。それが松本さんの基本的なスタンスでした。

「こうしてほしい」というと必ず「はい」と二つ返事で持ち帰る。難しくても必ず代わりの案というか、「こうすればできる」というカタチに変えて提案してくれました。実現するためには、どれくらい費用がかかるのか、無償の範囲でできるのか、その辺りも明確に示してくれましたね。

例えば、キッチンディバイダー。もともと壁だった予定をガラスに。モデルハウスでガラスのタイプを見て、カッコいいなと思い取り入れることになりました。

間仕切りをガラスにすることでより開放感が味わえるし、キッチンとそのほかの空間との一体感もでるしすごく気に入っています。そんな風に要望はすべて松本さんにぶつけたつもり。

無理難題もすべてカタチにしてくれたという満足感があります。

Q. 家づくりで一番大変だったことは？



ご主人：コンクリート打ちっばなし風の壁は、私の憧れの一つでした。だから一番悩み抜いてこだわったのが外壁。

でも憧れやこだわりが強すぎたのか、コーサインを出したのに、また白紙に戻したことも（笑）

色や質感にこだわって納得がいくまで何度も変更しました。

室内の壁紙は気に入らなくなったら比較的簡単に貼り替えられますが、外壁はそうはいきませんからね。

Q. これから家づくりをされる方にメッセージをお願いします。

ご主人：家が完成して住み始めた今、当時を振り返るともっと無理難題を言っても良かったのかなと思います（笑）。最初の頃は、注文住宅とか自由設計とか言われても、どこまで要望を伝えればいいのか全く分からなかった。

でも大阪城みたいな家建てたいと思っているなら、そのままちゃんと話せばいいんだと今は思えます。

たとえば、地下室を作りたいなら作りたいと言えばいい！

構造上の問題でできないとか、そういう判断はプロに任せればいいわけですからね。

あとから「やっぱりこうしたかった」と思っても後の祭り。もうどうしようもないじゃないですか。

とにかく思っていることはすべて伝えて、どこまで叶えてもらえるのかなというスタンスでやればいいと思います。私たちはそんな風にマイホームをつくったので、妥協したという感覚は一切ないですね。

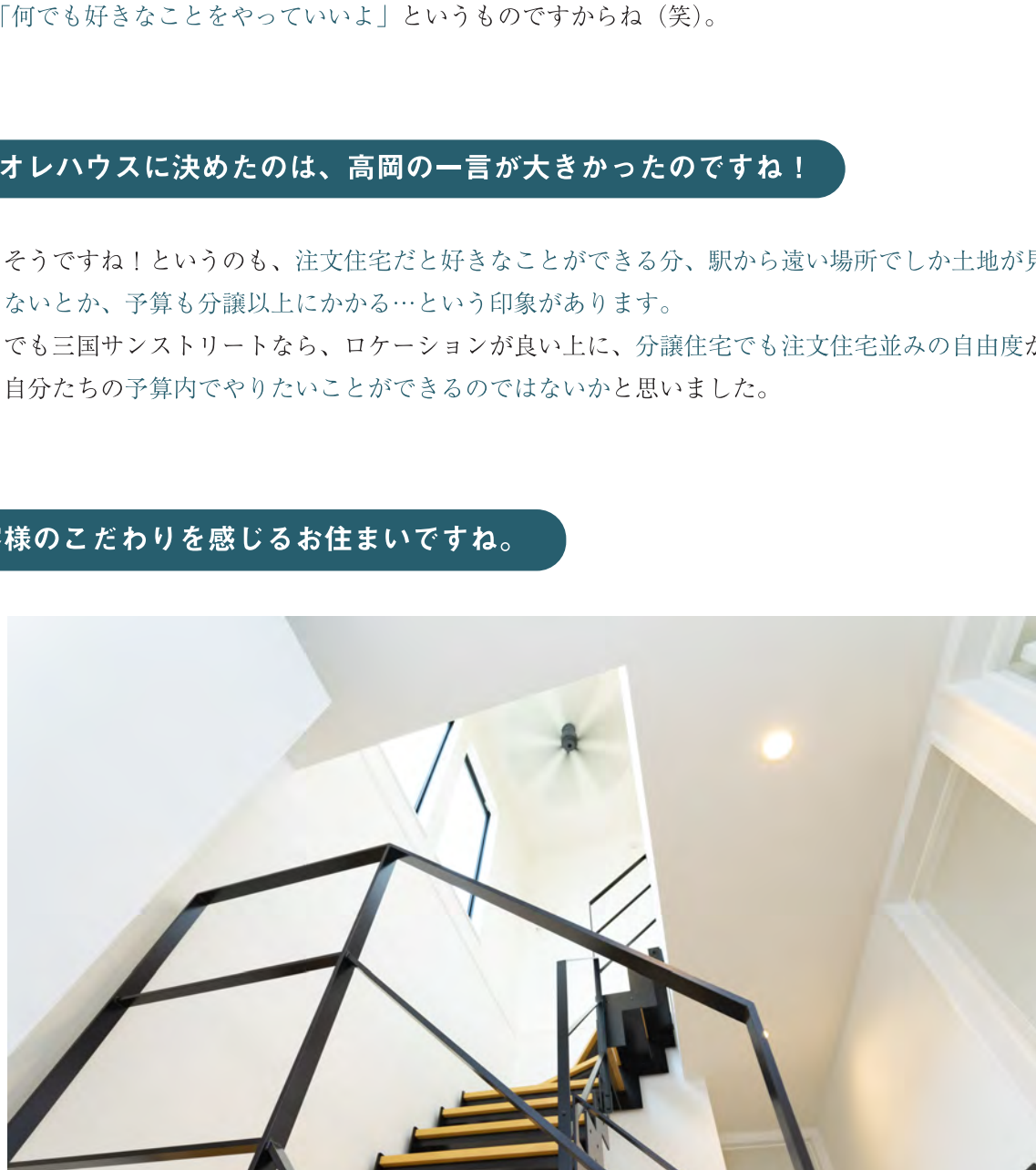
これはほどこまで自分が思った通りのものができるとは想像もしていなかった。

夢は語った方が現実になるんですよ！

フィオレハウスの自由設計でマイホームを建てていただいたお客様にインタビュー。
設計段階から取材にご協力をいただきました。笑顔がとても素敵なご夫婦です。



Q. マイホームを考えるようになったきっかけは？



ご主人：結婚したらいずれマイホームを持ちたいと思っていたので、三国サンストリートのことを知り、「とりあえず見に行ってみよう」と最初は軽い気持ちで分譲地を訪ねました。

実際足を運んでみると、場所もいいし、職場には自転車でも行ける。しかも販売担当の高岡さんが「何でも好きなことをやればいいよ」というものですからね（笑）。

Q. フィオレハウスに決めたのは、高岡の一言が大きかったのですね！

ご主人：そうですね！というのも、注文住宅だと好きなことができる分、駅から遠い場所でしか土地が見つからないとか、予算も分譲以上にかかる…という印象があります。

でも三国サンストリートなら、ロケーションが良いうちに、分譲住宅でも注文住宅並みの自由度があり、自分たちの予算内でやりたいことができるのではないかと思います。

Q. お客様のこだわりを感じるお住まいですね。



奥 様：外壁は黒っぽい塗り壁風に。あと、吹き抜け・シーリングファン・スケルトン階段も、絶対に譲れない希望でした（笑）。でも、最初からこだわりがあったというより、打合せしていくうちに、やりたいことが増えていったという感じです。

Q. お気に入りの場所を教えてください！



奥 様：やはりキッチンですね！LDKは全体的に天井高を上げつつも、キッチン上部は折り下げ天井にして、おしゃれなペンダントライトを取り付けました。熱、キズ、汚れに強いセラミックトップのシステムキッチンは、リキシルのショールームで見た瞬間ひとめぼれしましたもの。かなり予算オーバーでしたが、ほかの希望を少し諦めて調整しました。



奥 様：あと、玄関ホールに設けた手洗い場や洗面室のオリジナルの造作洗面台にも、私たちのこだわりが反映されています。感染症予防のためにも、帰宅してすぐに手洗いできるのはいいですね。

Q. 建具なしのクローゼットもおしゃれですね。



ご主人：クローゼットというより、衣袋部屋のようなイメージでつくりました。
建具がない分、出入りしやすく、モノの出し入れも楽で、本当に使い勝手がいいです。
予算削減にもつながりましたのでよかったです。

Q. スタッフからご提案したこと、よかったことはありますか？



奥 様：日当たりのことを考えて、リビングは絶対に2階にした方がいいとアドバイスをいただきました。実は以前住んでいたマンションの日当たりが悪いこともあって、「明るいリビング」は私たちの夢でもありました。北向きというのにもなっていましたしね。
リビングを2階にすることで、明るさだけでなく、広さも十分に確保できるというのが魅力的な提案でした。



Q. やりたかったけれどできなかった…そんなことはありましたか？

ご主人：やりたいことが増えていくのはいいのですが、やはり予算のことがありますからね。
とりあえず外壁の塗り壁は一番にあきらめることになりました。

奥 様：あきらめたことはいっぱいありました。でも、実際に住んでみたら、自分たちの希望は叶えられているし、住み心地もいいし、妥協したことなんかあったかな…という気持ちに。
きっと、自分たちの「こうしたい」に限りなく近い代替案を出してくれたのが良かったのでしょうね。

例えば、外壁を塗り壁にすることはあきらめたけれど、頑丈で、価格が比較のおさえられる金属製の外壁（サイディング）を代わりに提案していただきました。
「黒い外壁に」という当初の希望が叶った上、すごくスタイリッシュになって感激しています。



Q. 家づくりは大変でしたか？

奥 様：最初は一つひとつのことに悩んで苦労しました。小さなサンプルから全体を想像するのは難しかったし、図面だけ見ても空間のイメージがつかめなかった…。

だからこそ、こちらが希望するたびに打ち合わせをしてもらえたのは、すごくありがたいことでした。

ご主人：打ち合わせの回数が決まっている会社もあると聞いたことがありますが、そんな制限がブルームさんには一切なかったですね。何かを決めるときは、やはり悩むことが多いので、気兼ねなく相談できる環境をつくってもらって、本当に助かりました。

Q. スタッフとのやり取りで記憶に残っていることは？

奥 様：私自身がすごく優秀なので、これだと決めた後に、「やっぱりこうしてほしい」とか「今から変更できますか」とか、あとになって電話で相談にのってもらったことをよく覚えています。
時間をかけて決めたことをやり直すのは、すごく大変だったはず！
でも「せっかく家を建てるのだから希望は絶対に叶えたいし、何でも気にせず相談してほしい」と言ってくれてうれしかったですね。

Q. マイホームで暮らし始めて、住み心地はいかがでしょう？

奥 様：住み心地は、100点満点中150点！とにかく大満足です。
住む前は、これで良かったのかと不安に感じていた部分も正直ありましたが、実際に暮らし始めてと自分が想像していた通り。すべて良かったと思っています。

Q. どなたかを招待されたりしましたか？

奥 様：友人は一通り訪れました（笑）。モデルルームみたいとか、これと同じ家建てたいとか、すごくオシャレとか、とにかくたくさん褒めてもらえました（笑）。
両親も、土地だけ見たときよりも、空間がすごく広く見えると大絶賛でした。
明るい印象を持ってもらえたのも大成功ですね。それぞれの空間に合わせて、窓の大きさや配置が考えられているので、それが決め手になっているかなと感じています。

Q. お知り合いに三国サンストリートをご紹介いただけますでしょうか？

奥 様：はい！一番に「担当の高岡さんがいいよ！」って言いますね（笑）。
それから、「やってほしいことは、全部叶えてもらったのに、土地と建物を合わせて何より驚いたのは、費用のこと。こんなにいろんな希望を叶えてもらったのに、土地と建物を合わせて最初の予算からそんなにオーバーすることがなかったんです！ちゃんと私たちの予算のことを考慮して自分たちの理想をカタチにしてくれたことにとても感謝しています。

ご主人：場所もすごくいいですね。都心に近いところとなると、やっぱり価格は高くなってしまいがちですが、ここならアクセスも抜群なのに、価格も良心的！すごく満足しています。

